

朝来市議会議員選挙公報



小山 ゆたか

新たな局面に挑む!!

- with コロナの時代といわれる中、朝来市の政策はいかにあるべきか？これを常に念頭に精力的に取り組みます。
- IT活用による仕事環境、タブレット等による教育など、その変化の加速度は増大の一途です。このような局面をチャンスと捉え、政策を展開していきます。

積極的に政策を提言します!!

- 医療体制の充実
民間医療と公立病院との連携を強化
- 子育て支援・教育の充実
学童保育・ひきこもり支援の充実
- 福祉施策の推進
障がい者・生活困窮者の支援
- 産業の振興
米・但馬牛・岩津ネギ等、特産品を絡めてアピール
日本遺産認定の利活用
- 都市計画の推進
JR 和田山駅・駅北連絡通路の開設
駅北周辺の開発
- 空き家・店舗の活用
相談業務のための組織づくり

【プロフィール】

- 昭和31年 和田山町和田山生まれ。65歳
- 昭和54年 立正大学経済学部卒業
- 昭和56年～62年 日本国有鉄道勤務
- 昭和62年～平成17年 ビデオレンタル・トントン 和田山町議会議員
- NPO ライフケア理事長
- 北近畿クリーンシステム取締役
- NPO 市民オフィスやぶ事務局長
- 朝来市議会議員(1期)
- 民生・児童委員
- 福祉用具専門相談員



上田 ゆきひろ

公明党公認

「働きます！一人のために！朝来市のために！」

皆様の力強いご支援をいただき、「安心と希望あふれるまちづくり」のため、3期目に挑戦いたします。「地域と共に」「市民と共に」をモットーに、子どもたちが伸び伸びと育ち、高齢者、障がい者の皆さんが幸せを実感できる朝来市を目指し取り組んで参ります。皆様の更なるご支援を心よりお願い申し上げます。

安心と希望あふれるまちづくりに挑戦します！

- 「子どもの幸せ」最優先のまちに！
- 誰一人置き去りにしない地域共生のまちに！
- 高齢者・障がい者が生き生きと暮らせるまちに！
- 防災・減災で安全・安心なまちに！
- 産業振興で活気あるまちに！

2期8年間で70政策を提案・推進

- 手話言語条例制定を推進
- オリジナル婚姻届の制作
- 学校体育館のエアコン設置を推進
- 子育てアプリ導入を推進
- 市立図書館での図書消毒機の設置・雑誌スポンサー制度の導入
- 障害者手帳申請時の診断書取得費助成制度を推進 など多数

プロフィール

- ★昭和36年5月生野町生まれ60歳
- ★生野高校卒業 ★大阪外国語大学(2部)卒業
- ★上田クリーニング店経営 ★生野小・中・高PTA会長を歴任 ★妻、2男、1女、母の6人家族 ★好きな言葉「心こそ大切なれ」

戦略的な政策で朝来市に活力を!! 市政改革に全力で取り組みます。

- 農業を守り、田舎の風景、環境を守る
あぜ草刈作業の負担軽減、システム化を検討
- 高齢者の生活を守る
公共交通の根本見直し(デマンド方式、タクシー利用)・介護サポーター制度の確立
- 医療、介護の連携を強化、朝来医療センターの機能強化を図り市民の健康を守る
- 近年の豪雨に備え、円山川の堤防高上げを急ぎ市民の命を守る
- 地域の小学校、こども園を守る
子ども達の元気な声は地域の宝

中山間地では耕地面積に占める畦畔率は20%以上で管理が限界に来ている。

市内における高齢者の一人または夫婦でお暮らしの方の人口は5,400人と20%に近い。

朝来医療センターは高齢社会に対応しているか？

未改修の堤防が存在することを県土木も認識されています。一日も早い着工が待たれます。

児童数の減少が著しい。統合は避けたいものです。

プロフィール

- 生年月日 昭和23年4月17日
- 住所 朝来市和田山町同300
- 学歴 昭和42年 八尾高等学校卒業
昭和47年 名城大学理工学部卒業

- 職 議会 議会改革特別委員会 委員長
- 総務常任委員会 委員長
- 副 議長 (平成31.11～現在)



もりした 森下 つねお

元気な自慢のまちを生まれてくる子供にも残してやりたい 若者を帰す政策で活力創生

大企業誘致・生活基盤

- ☆6次産業の推進 駅前再開発
- ☆運動公園 駅ヤードに新名所
- ☆交流消費人口増 街の活力増進
- ☆出生・子育てを強力支援
- ☆給食費 保育料無料
- ☆議会 市役所改革
- ☆高齢者 快適生活応援

経歴
大 院 大 院 大 院 大 院 大 院 大 院
高 校 教 師 大 院 大 院 大 院 大 院 大 院 大 院
交 通 交 通 交 通 交 通 交 通 交 通
救 護 センター 副 副 副 副 副 副
セ ン ター 顧 問 顧 問 顧 問 顧 問 顧 問 顧 問

朝来市議会副議長
豊岡病院組合副議長
青少年支援事業団理事長
兵庫県生涯学習講師



くさか しげる 日下 茂

あしたもあかるい朝来市を！

- 21世紀は「田園回帰」、地方の時代です。新型コロナウイルスの流行により、ライフスタイルや働き方など、急激な変化を余儀なくされました。そうした中で、人々の価値観も大きく変わりつつあります。今こそ、朝来市から「地方」が持つ魅力をおおいに発信しようではありませんか。
- ☆ 安心・安全の街づくり
防災への備え強化、地域医療の確保、老人介護体制の充実
キラリと光る『未来の宝』子育て世代への支援
 - ☆ 農林業活性化の街づくり
農業の担い手育成と持続可能な生産体制の確立
施業技術者・後継者の育成による森林の保全と再生
 - ☆ 未来へつなぐ街づくり
文化遺産の保護と管理体制の構築
少子化に対応した個性を生かした教育推進
 - ☆ 新型コロナへの対応
アフターコロナを見据えた対応と基盤づくり
ウィズコロナを乗り切る体力強化と社会的弱者への支援
- 《略歴》
昭和34年2月生(62歳) 朝来市和田山町宮区 在住
生野高校、大阪経済大学卒業、兵庫県立大学大学院修了
新日本運輸(株)、伊部樹、東芝テック(株)勤務のち
会社経営(有限会社ベスト 代表取締役)



まつい 道信 松井 道信

市政刷新へ積極的に提言！

私たちの中山間地域は、少子高齢化、過疎化が進み、地域の安全・安心の確保にも苦心しなければならぬ状況です。私たち地域住民の暮らしを守るには、最も身近な地方自治体がシッカリして、額に汗して働く勤労者や農業者を守る以外道はありません。私は、地域に根ざした勤労者や農業者の代表として、民間企業の経験を活かし、スピード感ある地方自治の実現、新型コロナウィルスに負けない、明るく元気なまちづくりに向けて「モノ言」議員、優れた市民の代弁者」を目指して精一杯頑張ります。皆様の暖かいご支持・ご支援を心からお願ひ致します。

さが山 博の《まちづくりのお約束》

《子育て支援の充実で地域に笑顔を》掛け替えの無い子供たちの明るい未来を目指し、子育て支援の充実により取り組みます。

《地域に豊かさ活力を》雇用拡大のため企業誘致や既存企業の更なる支援を進め、勤労者・生活者が報われる社会の実現、若者が定住しやすい活力あふれる街づくりを目指します。

《参画と協働で助け合い、支えあう心豊かな安全・安心のまちづくり》農業を中心の循環型の産業構造の構築、人間尊重の共生・共創の街づくりを目指します。

《医療や介護・福祉・教育が充実した日本一住み良いまち、朝来市づくり》民間企業の経験を活かし、スピード感のある行政経営(行財政改革)を提案します。



ひろし さが山 博 (49歳)

朝来市議会議員選挙公報

朝来の未来を拓く可能性の探求！！

まずは聴く

- ◇多様な意見を市政に反映
- ◇未来を担う人づくりを進め活力あるまちづくりを拓く

〔ワクワクする未来に〕

- ◇コロナ対策と力強い景気刺激策の実行
- ◇子育て、教育、医療を市政戦略に
- ◇高齢者の交通手段の問題解決
- ◇暮らしやすい地域を築く
- ◇市長と市議会議員の同時選挙の実施
- ◇市議会議員の定数削減

自己紹介

- 生年月日 昭和28年8月31日生(66歳)
- 学歴 帝京大学法学部卒業
- 職歴 山芳製薬㈱ 元代表取締役社長 現在は、如來寺住職
- 主な役職 朝来市仏教会会長
浄土真宗本願寺派朝来組組長
朝来地区保護委員会会長



森田りょうじ

私は、12年間にこのような実績を重ねてきました。

- 健全づくり条例の制定
- 公正な職務の執行の確保に関する条例の制定
- 障がい者複合型多機能施設の整備
- 特定不妊治療費の助成
- 不育症治療費の助成
- 産後ケアサービスの創設
- コンビニ交付サービスの創設
- 消防団員出動手当の増額
- 区等防犯カメラの設置助成
- 酒蔵ツーリズムの推進
- フィルムコミッションの設立
- サテライトオフィスの設立
- 校務支援システムの導入
- 学校等関連施設に防犯カメラの設置
- 学校地内の除雪
- 中期的な人材育成プログラムの策定
- 条件付一般競争入札の導入(財政効果約1億円/年)
- カーボンオフセットのクレジット化(財政効果約100万円/年)
- 畜場の業務改善(財政効果約300万円/年)
- 工業用水道事業会計の黒字化(財政効果約600万円/年)
- 朝来医療センターの赤字改善(財政効果約4,000万円/年)
- 南但クリーンセンター高効率原料回収施設(バイオガス発電)の安定化(財政効果約2,500万円/年)
- 南但電算事業会計の改善(財政効果500万円/年)

「健康は肉体的にも、精神的にも、社会的にも、すべてが満たされた状態であること」を定義されています。幸せな長寿社会の実現を目指します。

若者や子育て世代を支援したい！

人口減少や未婚の問題は、本質的に経済の低迷と実質賃金の低下を改善させる必要があります。若者の結婚や子育て世代の支援の充実を目指します。

抜本的な行政改革を行いたい！

行政組織と職員をより機能的なものに変え、また現在の硬直的な財政を弾力的なものに変える必要があります。抜本的な行政改革を目指します。

『私は、5つの政策を実現したいと考えています。』

●市民満足度の向上を目指す
●市民の皆様の役に立つ行政であり、市民満足度を行政の明確な目標として掲げ、市民満足度の向上を目指します。
●産業振興を図り、計画的都市開発を行いたい
●経済基盤である産業振興を図るためには投資を促進させる必要があります。都市計画も財源の確保から検討し直して、計画的な都市開発を目指します。
●健全な長寿社会を実現したい
●健康は肉体的にも、精神的にも、社会的にも、すべてが満たされた状態であること」を定義されています。幸せな長寿社会の実現を目指します。



吉田しゅんぺい

健康長寿日本ー 若者移住日本ー 朝来市の総力で2つの日本ーに挑戦しよう



横尾正信

公約の1 そして私は日本ーの仕事師議員となることをお約束します。

市民の代弁者として全力を尽くします。

公約の2 選挙後、直ちに「買物難民、交通難民」問題の解決に着手します。

そして高齢者が安心して免許証を返納できる「誰一人取り残されない」新しい交通システムをつくります。

シルバー新党あさご 推薦

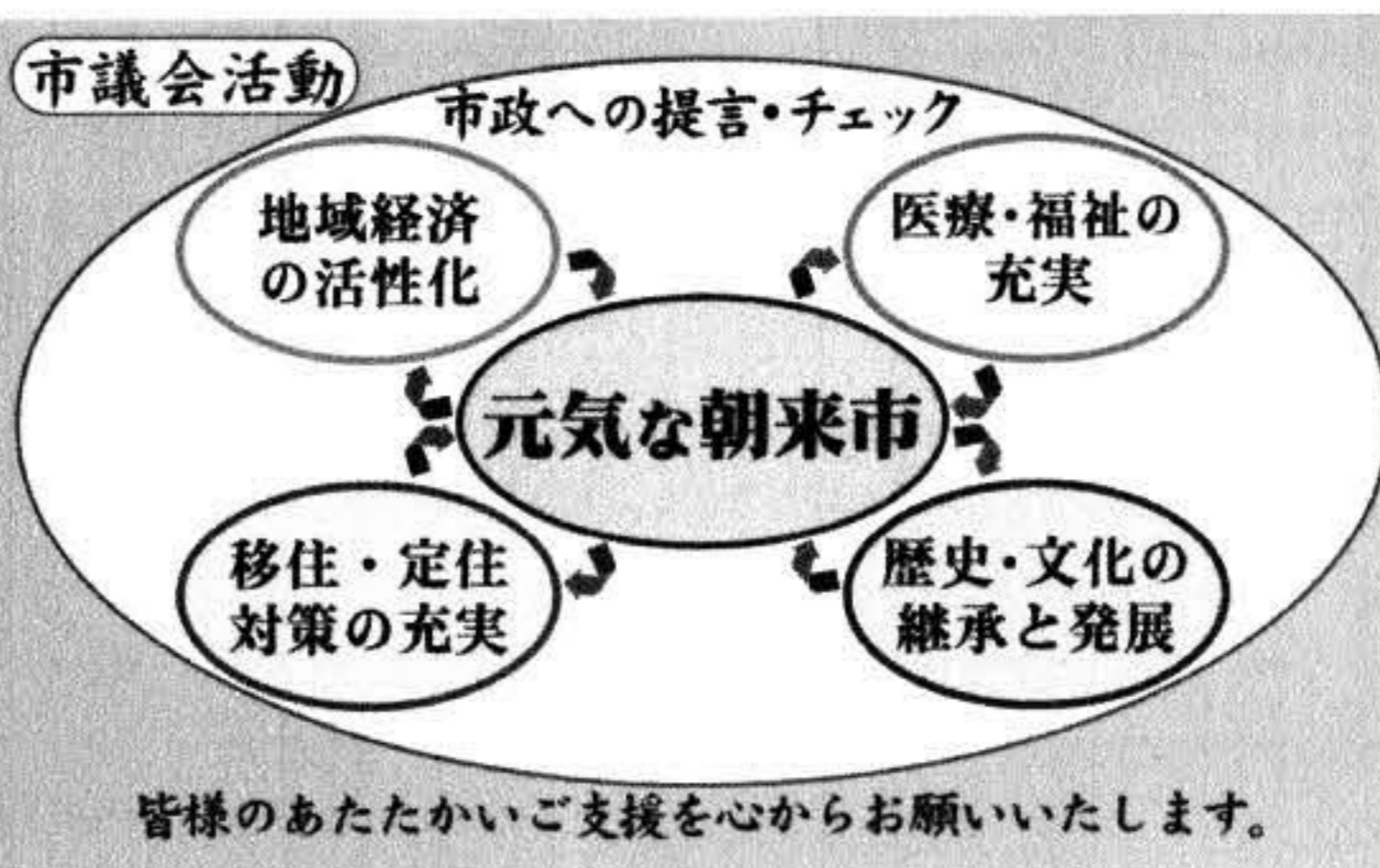
みなさんと創る 元気な朝来市

朝来市政の重要課題

- 新型コロナ対策の充実
- 地方回帰の流れを定着させる施策
- 第3次総合計画の着実な推進
- 公共交通充実による外出機会創出
- 公共施設再配置計画の着実な推進
- 住環境を保全する農林業の振興
- 全国に誇れる朝来市となる施策
- 災害に強い安心・安全なまち
- 企業誘致の促進と工業用地の確保
- 民間の活力を市政に反映



足立義美



プロフィール

昭和25年1月18日生まれ
県立生野高等学校卒業
昭和43年 兵庫県職員
但馬県民局 環境担当参事
但馬県民局 和山山分室長
新温泉健康福祉事務所長
平成22年 行政書士足立義美事務所開設
元竹田小学校PTA会長
元竹田地域自治協議会事務局長
前竹田新町区長
朝来市議会議員

バスなど公共交通の再編・適正化 仕事の創出・子育て支援・教育の充実

朝来市の将来のため、以下の政策で高齢者社会に対応し産業・経済・雇用・若者定住・子育て支援、観光を総合した朝来市を創り出します。

- ① コロナ対策をしっかり行い、地域の活性化をめざします。
- ② 路線バス・アコバスなど公共交通の再編・適正化によって、高齢化社会への対応をめざします。
- ③ 仕事を生み出し、雇用の充実によって、若者の定住・移住をめざします。
- ④ 子育て支援、教育の充実をめざします。
- ⑤ 福祉・医療(MRIも含め)・介護の充実をめざします。
- ⑥ 生野銀山と竹田城を全国・全世界にPRし、観光客・交流人口・関係人口の増加をめざします。
- ⑦ 木質バイオマス発電に続き、水力発電等、エネルギーの地産地消をめざします。
- ⑧ 農林業の強化のため6次産業化、特産品の開発と販路の確保をめざします。

いつでも市民目線、いつでも全力投球！



ふちもと 稔

住んでよかった 朝来市に

- ① 新型コロナウイルス感染症対策について、しっかりと提言します
- ② 豊かさや幸せな社会づくりのため、様々な分野での「デジタル化」について取り組みます
- ③ 「人口減少問題」の課題について解決を探ります
- ④ 誰一人取り残さない世界を目指し、SDGsへの取り組みを高めます
- ⑤ アフターコロナを見据え、将来につながる様々な施策を提言します

関綾乃 プロフィール

【生年月日】 昭和46年10月31日(49歳)

【学歴】 兵庫県立生野高等学校卒業 / 姫路獨協大学経済情報学部卒業
大阪体育大学体育学部卒業 / 佛教大学教育学部修了

【職歴】 (株)ロックフィールド第2営業部 / 大阪府豊中市立第13中学校<保健体育科> / (現豊岡市) 但東町教育委員会社会教育課 / 兵庫県但馬県民局にて「まちの子育てひろばコーディネーター」など担任 / 現在はボランティア、式典司会者として活動中

地域で暮らす方々の声や思いをしっかりと受け止めます。勤労世代やその家族を支える主婦の目標を通じて、住んでよかった朝来市と思えるように取り組みます。



関綾乃

49歳

朝来市議会議員選挙公報

コロナから命と暮らしを守る市政へ

国保税の引き下げ・こども医療費は高校まで無料に

【略歴】1957年和田山町玉置生まれ。立命館大学卒。1996年に和田山町議初当選以後町議3期、市議4期。市議会では議会運営委員長など。日本共産党但馬地区常任委員。

実現するまでがんばります

- 国保税1世帯1万円引き下げ。
- 朝来医療センターの充実、こども医療費は高校まで無料に。
- 保育料軽減、学校給食は無料に。
- 鳥獣害対策と、米価下落でなく10a当たり7500円の補償を。

市の貯金があります
財政調整基金36億円、国保基金1.6億円、介護保険基金0.9億円、地域振興基金19億円、公共施設等基金16億円。

73億円の基金は、「市民の暮らし・福祉・教育」に活用すべきです。これからも市民のくらしに心を寄せて、全力でがんばります。



鈴木いつろう

日本共産党

市民と野党の共闘を実現し、総選挙で「政権交代」を



朝来市を元気なまちに！

スポーツ振興と未来のためのまちづくりを考え行動します！

- POINT1 今、コロナに負けないために必要なことは「免疫力強化」
高齢者はもちろん朝来市民すべてが可能な運動をするための環境づくり。公民館などを使い手軽にできる体操教室の実現を目指します。
- POINT2 子どもたちの強い心を育てるために運動が大切
野球、陸上など、放課後スポーツ活動のサポートや中学校の部活動において外部指導員を斡旋などを目指します。
- POINT3 子育て世代を応援！新たなコミュニティーを考える
子育て世代を中心に、誰もが簡単に利用できる新たなコミュニティーを考えます。

現在の活動を活かして！

NPO法人ジュニア体操教室の代表として、子どもから高齢者まで全世代のみなさんに対して運動指導を行っています。

<主な活動>
子どもと大人の体操教室運営（1週間で12本）
市内こども園と小学校の巡回訪問運動指導
健康福祉大学講師 やなせこども園定期指導他



高橋ひろし

① 市民が主人公のまちづくり

- 自治協議会など地域自治組織の活性化をめざします。
- 文化・芸術活動や郷土史、歴史遺産の保全、継承の取り組みを応援します。

② 農業と林業が大事!!

- 就農支援や農業移住の推進、若い世代の担い手を増やす取り組みを進めます。
- 地域で取り組む里山整備事業への支援、自伐型林業の取り組み支援を進めます。

③ 豊かな自然は朝来市の宝

- 「オオサンショウウオ」と「コウトリ」を育む自然環境の保全、活用を進めます。
- そのために朝来市独自の生物多様性地域戦略の策定を実現します。
- 子どもたちの自然体験活動を推進し、朝来市の自然の魅力を伝えます。

④ 教育、子育ては朝来市の未来

- 全ての子どもたちが自己肯定感を育む教育が大切です。
- いじめのない、優しい、思いやりの心を大切に作る学校、子どもたち一人一人に寄り添った教育環境づくりをめざします。
- 子育て世代の声に耳を傾け「子育てのまち朝来市」をめざします。

【藤本邦彦のプロフィール】
与布土地域自治協議会設立から15年にわたり、まちづくりの最前線で活動。市内こども園、小学校などで「自然体験活動」や「ふるさと教育」の講師を長年つとめています。朝来市議会では主に、地域の活性化、移住定住推進、農業支援、教育、自然環境の保全と活用など、現場経験を活かした施策提言を行っています。



藤本邦彦

ふじもとくにひこ

(53歳)

農業と自然 文化と活力のまち創り

魅力あるまちを創る！

政治姿勢	自律志向	政策の提案・実施に積極的に取り組み、説明責任を果たします。
	市民志向	常に市民の立場に立って考え、市民サービスの向上を図ります。
	未来志向	前例に囚われず目標達成に全力を傾注し、未来の付加価値を追求します。

目指すところ

- ◎ 次代を担う子どもたちの保育・教育環境の充実
- ◎ 様々な人々が分け隔てなく暮らせる住民サービスの充実
- ◎ 日常生活基盤の更なる機能向上と防災力の強化
- ◎ 地域に根ざし市内経済を支える事業者の振興支援

そして 朝来市・すべての人の命輝くまち

【略歴】1959年山東町生まれ。県立八鹿高等学校卒業。早稲田大学法学部卒業。情報サービス業。朝来市議会総務常任委員会委員。南但広域行政事務組合議会。ごみ処理計画特別委員会委員。朝来市監査委員。



藤原正伸

ふじわらまさのぶ

コロナから命と暮らしを守る市政へ

国保税の引き下げ・こども医療費は高校まで無料に

【略歴】八鹿高卒。2000年に和田山町議初当選以後6期。駅前商店活性化対策協議会会長、駅前通り商店会会長、和田山旅館組合役員、日本共産党但馬地区委員。

実現するまでがんばります

- 国保税1世帯1万円引き下げ。
- 朝来医療センターの充実、こども医療費は高校まで無料に。
- 保育料軽減、学校給食は無料に。
- 鳥獣害対策と、米価下落でなく10a当たり7500円の補償を。

市の貯金があります
財政調整基金36億円、国保基金1.6億円、介護保険基金0.9億円、地域振興基金19億円、公共施設等基金16億円。

73億円の基金は、「市民の暮らし・福祉・教育」に活用すべきです。これからも市民のくらしに心を寄せて、全力でがんばります。



岡田かずゆき

日本共産党

市民と野党の共闘を実現し、総選挙で「政権交代」を

私たちが応援します
法道寺 野崎一章
高田 田村昌平
弁護士 前田貞夫

みなさんと一緒に 住みやすい街を 創りたい！

立候補のごあいさつ

私はこの度、朝来市市議会議員の選挙にあたり再び立候補を決意いたしました。朝来市が誕生して16年、市民が安心して暮らせるまちづくりへ向けて全力で取り組んでまいります。

1期4年間の経験を活かし、市民のみなさんの声に耳を傾け、市民に寄り添い、人にやさしい政治を目指します。

私の政策方針

- 一、少子・高齢化対策の充実
- 一、地域医療体制の充実・強化
- 一、農業・商工業の振興
- 一、インフラ整備の充実
- 一、災害対策の強化
- 一、教育・スポーツ・文化の振興・推進

元気なまちづくりをめざし、人との関わり方を大事にします。支え合う社会へ!! 皆様の温かいご支援をお願いいたします



浅田いくお

あさだ

朝来市議会議員選挙公報

少子高齢化と叫ばれて久しい、朝来市の人口は年々減っています。人口が減ることで、これまで一人ではできないので地域で協力して行ってきた環境整備、草刈りや農業用水の管理、秋祭りなど地域活動が維持できなくなることが課題です。

これからは、住む人の数ではなく、住む環境の質を高めて人口減少をいかにプラスにする仕組みをつくるかです。

住み続けたい 元気な美しい朝来市へ

- ◆安心安全な医療体制の確立と子育て支援、福祉充実による安らぎの郷へ
- ◆企業誘致、起業支援による働く場の創出とUターン者の積極受入れへ
- ◆農地、山林の保全、農林業の振興と農林業で暮らせるまちへ
- ◆学校教育の充実と、芸術文化及びスポーツの振興による生涯学べる地域へ
- ◆地区・地域支援プログラムによる豊かな美しい郷へ

【水田文夫プロフィール】
 昭和30年7月27日生まれ(66歳・三男の父) / 山口小学校、朝来中学校、生野高校を卒業
 昭和49年4月朝来町役場入庁～平成24年3月朝来市役所退職
 主に企画、産業畑を体験、朝来市では芸術文化課長・商工観光課長・農業振興課長
 元生野高校PTA会長 / 元あさご芸術の森美術館館長
 現在
 あさご芸術の森美術館友の会 会長 / 朝来町物産流通事業株式会社 取締役 / 羽淵区長



水田文夫



10年後・20年後も元気で 住みやすい朝来市をつくります

朝来市に移住して7年、おかげさまで楽しい毎日です。「大好きな朝来市の良さを未来へつないでいきたい」その思いから、この地でがんばる決意です。加藤はまず、一人一人の声を聴きます。若者としての長期的な視野、移住者としての幅広い視点で考えます。子育て・介護・協力隊の経験から市政に訴えます。責任もって最後までやりとげます。どうか、あなたの一票を若い力に託してください。

- | 子育て・教育 | 福祉・多様性 | 地域活性化 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●安全な通学路整備 ●個性的な学校づくり ●先端教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者福祉の拡充 ●孤立ゼロ社会の実現 ●働き方改革 | <ul style="list-style-type: none"> ●コロナ時代の経済振興 ●文化の保存と伝承 ●移住・Uターン支援 |

1983年東京生まれ。開成高校 慶應義塾大学大学院卒業。
2014年朝来市地域おこし協力隊として生野町奥銀谷に移住。
介護福祉施設で働きながら夫婦で喫茶店を経営。2児の父。

自由民主党生野町支部は加藤たかゆきの政治活動を応援しています



加藤たかゆき

おざき里美は

市民の声を行政に届け、
施策の中に生かします。
皆様の力強いご支援を、
おざき里美にお願い申し上げます。

人にやさしい 市政を



おざき里美

- 世話好き** 女性の目線で活動します。「おざき」何でも相談室を設けます。
- 清潔** 清潔で人にやさしい市政を実現します。
- 福祉の充実** 老人福祉、医療、年金、しょうがい者福祉の充実に取り組みます。
- 教育と人権** 教育の充実、人権尊重の市政を実現します。
- 「市みん」の発行** 40年間発行されてきた「市みん」を継承し、これからも発行し続けます。

新型コロナウイルスは、私たちの生活のすべてを圧迫しています。日常生活も大きく様変わりしました。当面のコロナ対策としては、まずPCR検査の徹底と、若年層を含むワクチン接種の徹底が求められています。そして、生活破壊を防ぐための有効な行政施策が、どうしても必要です。

朝来市では庁舎の建設、医療センターの新築を終え、今後は企業誘致、新規事業への支援、農林業の振興など新たな雇用を生み出すための強力な施策が求められます。

また、容赦なく襲いかかる少子高齢化の波は、朝来市誕生から今日までの16年間に、5,954人(毎日1人)の人口を減少させる恐れを突きつけています。若者の結婚と朝来市への定着を促進するためには、家賃補助(月額3万円程度)を実現することも必要です。出産、育児への手厚い施策も急がれます。

おざき里美は、福祉の道一筋に進んできた経験を生かし、老人福祉の充実、しょうがい者福祉、子育て支援、教育の充実などに主力で取り組みます。

子育て支援 医療福祉 介護



朝来医療センターに 小児科・産婦人科の設置を！

朝来市で暮らしているのに、市内の公立医療機関で出産も、子供の受診も出来ないなんて絶対おかしい！！

誰だって、いつでも 社会参画できる社会を！

障害とは、その人が参画できない社会自体が障害！
IT・AIの推進、障害者雇用率の向上、引きこもり支援を！

高齢者になっても 地域で生活できる施策を！

人は誰しも平等に歳をとる。住み慣れた地域や家で暮らしたい！
買い物難民・交通難民の解消、一層の在宅介護支援を！！

- <自己紹介>
- 昭和53年11月9日生(42歳)
 - 現在、喜多垣区(与布土地域)に在住。妻と息子(小4)、母との4人暮らし。
 - 大学卒業後、朝来市内精神科病院にて精神保健福祉士として勤務(平成25年まで)
 - 同年の朝来市議会議員選挙にて初当選、以後2期
 - 兵庫県精神障害者相談員(朝来市担当) 一社 兵庫県精神保健福祉士協会 元理事
 - 朝来市立栗瀬小学校 前PTA会長 一社 南但青年会議所 元理事長



西本英輔

小学生の子をもつ父親として
精神保健福祉士として

10月24日(日) 投票日

<投票時間> 午前7時から午後8時まで

【黒川、猪野々、白口、川尻、藤和、迫間、三保、金浦、神子畑、中田路、奥田路は午後5時まで】

- ### 投票所の新型コロナウイルス対策
- スタッフ全員、体温チェックをします。
 - スタッフ全員、マスクまたはフェイスシールドを着用します。
 - 有権者と接する職員の前には飛沫感染防止用の仕切りを設置します。
 - 有権者と接する職員はゴム手袋を着用します。
 - 投票記載台、備品、消毒液のボトルは定期的に消毒します。
 - 投票記載台は間隔を開けて設置します。
 - 定期的な換気に努めます。

- ### 鉛筆の使用について
- 使い捨て鉛筆を配布します。使用後はお持ち帰りください。
 - 希望者には消毒済みの鉛筆を配布します。
 - ご自宅などから持参した鉛筆でも投票することができます。

